

～学校の「あたりまえ」を問い合わせ直す～

激論！コグトレ 松森 VS 山口

2023年3月25日（土）14：00～17：00

14：00～15：30 開会あいさつ・対論 （開場13：30）

（パネラー：松森俊尚・山口正和 コーディネーター：牧口一二）

15：45～17：00 フロアディスカッション

人権平和センター豊中 4階ホール

○先着100名・参加費不要・要予約！（感染症対策のため、人数制限されています）

申し込み受付け締め切り：3月20日（月）

予約は出来るだけメールで、下記連絡先へ。

参加者の住所・お名前・アドレス（電話番号）・参加人数・参加形態（会場・ZOOM）をお知らせください。ZOOM参加の方は後日URL等をお知らせします。

○感染症対策は十分に行います。会場参加者は当日、自宅で検温の上、発熱・体調不良等のないことを確認の上ご参加ください。

○連絡先：障大連事務所（担当 西尾）

E-mail npo-oii@mbd.nifty.com TEL 06-6748-0646 FAX 06-6748-0673

論客

松森俊尚（元寝屋川市立小学校教員・「街角の共育学」など著書多数）



テレビでコグトレを紹介するニュースを見たことがきっかけでした。

コグトレ、ユニバーサルデザインの授業、百マス計算、学校スタンダード…本当に必要なんでしょうか。多様性の尊重、SDGsなどと言いながら、学校・教室で子どもの権利、人権は守られているのでしょうか。



山口正和（元小学校・養護学校・府立高校教員、現相談支援員）

コグトレは「ともに派」のみなさんからは目の敵にされているようですが、実際の現場では多くの先生方が使われています。また保護者の方々からも支持されています。これらの事実はコグトレが単なる理論ではなく、具体的な効果があることの証左です。冷静な議論を期待しております。

主催：劇団金夢太郎飴・「障害」児・者の生活と進路を考える会・障害者の高校問題を考える大阪連絡会
共催：障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議・学びをひろげる わたしと〇（まる）人の会
後援：豊中市教育委員会

○コーディネーター 牧口一二さん自己紹介

1937年大阪市生まれ（85才）。1才の頃ポリオにかかり「障害者」の資格を得る。6才の春、母におぶわれて小学校へ出向くも、第二次世界大戦中で「空襲の時に危険」と入学を断られる。敗戦後小学校入学。体育は見学、遠足・旅行は不参加（高校最後の旅行は参加、級友におぶされて阿蘇の頂へ）。



小・中・高・美術学校と地域の学校卒。

美校卒の3年後、学友とデザイン会社設立。30才の頃から障害者市民運動に参加。

80年ばかり「障害者」をやってきて、特別な人間と思ったことは一度もない。だけど今思うと「障害」以外に自分の取柄がないことに気づき、驚くばかり。

○内容紹介

文科省は「特別支援教育制度を廃してインクルーシブ教育にパラダイムシフトを！」という国連障害者権利委員会の勧告を意識してか、「通級指導教室」大幅増（全校配置）などを言い出しています。通常の学級に在籍する発達障害の子ども「8.8%キャンペーン」と相まって、「通級指導教室適当」の新しい「障害児作り」を警戒する必要があります。

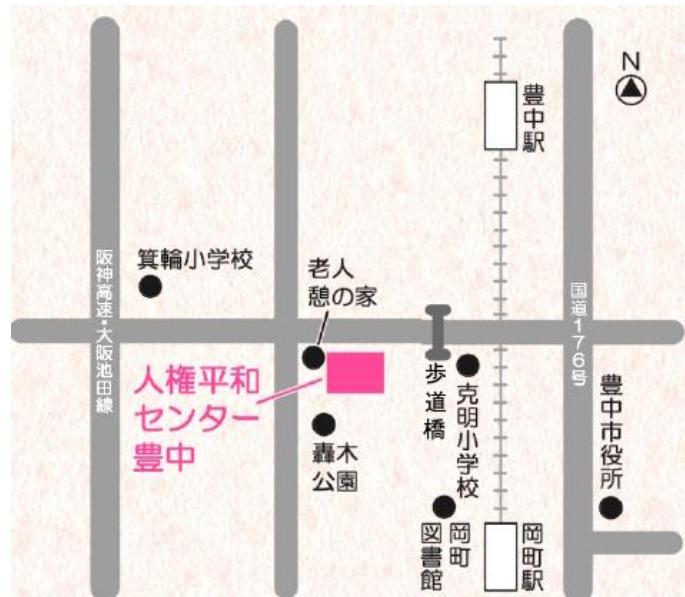
一方この動きを受けて、「通常学級についていける」ようにするための「コグトレ（認知トレーニング）」が一層流行の兆しを見せています。認知トレーニングによって子どもの力を高めていこうという手法は、古くからあります。コグトレはこれらとどう異なるのでしょうか？「薬を使わないコグトレ」に、「副作用」は無いのでしょうか？そもそも、コグトレにはどういう狙いがあるのでしょうか？

今回は「ディベート」の形をとって、その功罪、光と影を検証したいと考えました。

山口と松森がコグトレ擁護派と反対派にわかれ、熾烈な議論を交わします。第二部のフロアディスカッションでは、それを踏まえて参加者皆さんのが熱い議論を期待しております！

○人権平和センター豊中地図

豊中市岡町北3丁目13番7号



アクセス②阪急宝塚線・岡町駅より西へ500m

*阪急豊中駅は工事のため3月下旬までエレベーターが使えません。車椅子の方、ご注意ください。
(梅田→岡町は、普通電車で16分・駐車場はありません。駅周辺のコインパーキングに…)